

2016年（平成28年） No.62



けいせい

発行者：和歌山蹊成会 和歌山市直川 612-1 TEL：073（461）5002 FAX：073（461）5007

浜田しんすけ

昨年の和歌山市議会選挙から、丸一年が過ぎました。私自身、その間悪戦苦闘ながら、和歌山市政改革や地域発展のために努力して参りました。

市政の大きな変化は、まだまだ実現できませんが、和歌山市民の皆さんが、少しでも安心、安全に暮らして頂ける街に、そして未来に期待を持てる街に、その実現に向けて活動しております。また、私に市行政に関する、質問、疑問、相談などがあれば、気軽に問い合わせ頂ければ幸いです。皆さんの声をしっかり受け止めて今後の活動に生かしていきたいと考えています。日々の活動を支えて頂いている皆様に感謝申し上げ、冒頭のご挨拶と致します。



和歌山蹊成会 春のつどい



平成28年2月24日、和歌山蹊成会春のつどいを開催致しました。たくさんの皆様にお集り頂きました。

浜田の友人でもある湯澤剛氏に「あきらめなければ道は拓ける。朝の来ない夜はない」をテーマに講演していただきました。湯澤氏は、お父様の急逝によって家業を継ぎ、40億円の負債を抱えながら倒産寸前の会社を16年かけて再生をした方で、中小企業経営者としての生き方など御自身の理念をお話し下さいました。また、浜田は出席して頂いた方々に色々なお話しや、貴重なご意見を聞かせて頂くことが出来ました。食事をしながら、和やかに楽しい一時を過ごせました。

ありがとうございました。



まちづくりについて

今後、和歌山市では旅館・ホテルの拡張、新設を支援するとあります。現行では、インターチェンジ付近には、ホテルの建設は出来ませんが、今後も民間から申し出があっても従来通りでしょうか。

また、幹線道路周辺に観光や、集客、住民の利便性に貢献する施設店舗であっても開発許可されないのですか。

市長

現在、市街地調整区域におけるホテル建設は、拡散につながると考え、一部を除き認めておりません。

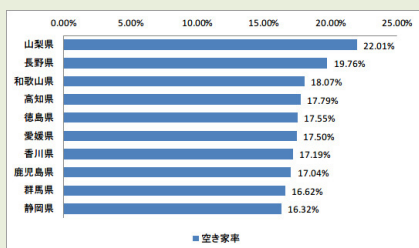
インターチェンジ周辺への立地については、ホテル需要や観光地へのアクセス性等について、調査・検証し、今年度に策定予定の都市計画マスタープランにおいて検討致します。幹線道路周辺における施設店舗については、本市の観光政策において必要か否かを検証致します。なお、住民の皆様の日常生活に必要な利便施設については、地域拠点などにおいて、今後も立地可能となっています。



空家対策について

私の近所で空き家についての問い合わせがありました。

この空き家については、持ち主が亡くなり相続者が縁戚者になるのですが、相続放棄をされて、管理責任者不在のまま放置されています。老朽化も激しく、大変危険な状況です。この事例を踏まえて、今後、このような空き家が増えることが大いに懸念されますが、どうお考えでしょうか。



2014年 空家率
和歌山県 ワースト3位 18.07%

市長

空き家対策特別措置法においても、その対応については明確に示されていませんが、最終的には、市が対策をしなければならないと考えます。

このため今後は、空き家等対策計画の策定にあたっては、協議会を組織し、意見を求めるとともに十分調査研究を行い、所有者等が不在の空き家対策・措置等について定める必要があると考えます。



駅前拠点整備について

J R 阪和線の六十谷駅と紀伊駅の駅前拠点整備について伺います。両駅ともに、和歌山駅に次いで乗降客が多いにもかかわらず、駅前が狭小なため朝夕の利用者のピーク時には、自動車、自転車、歩行者などで大変混雑するなど安全面でも危惧されます。

駅の利便性を高めれば、速効性はなくとも、本市への定住促進対策の一助となると考えますが、どうお考えですか。

市長

両駅とも利用者が多いことから重要な駅であると認識しています。

駅施設自体は、エレベーター・スロープ・多目的トイレ設置といった一定の整備はされていますが、駅前が狭いことなど、地域の拠点となるには交通結節点機能の向上が必要であると考えています。



平成28年度2月定例市議会での一般質問内容(抜粋して掲載しています)



今後の経済の見通しについて

平成29年4月の消費税10%引き上げについて伺います。前回消費税8%に増税した後、国内消費がかなり冷え込んだことは、間違いありません。その教訓がある中で、一年後に迫った10%導入で、市長は、市民生活、和歌山市の経済状況など、どう予測されますか。

市長

過去消費税率を8%に引き上げた際の影響については、消費税3%、5%に引き上げの際も同様に新車登録台数、新設住宅着工戸数、大型小売販売額など、税率引き上げ前後に駆け込み需要と反動減が発生しています。10%引き上げ時にも同様の動きが予測されます。特に小売業を中心とした商業では、景況感の悪化が目立っており、回復期間も長いことから、他の業種への波及も懸念されます。しかし、10%引き上げの際には、軽減税率が導入されます。これによりある程度抑制され、外食及び酒類を除く食料品の物価上昇も回避される分、家計への負担の緩和も期待できると考えています。いずれにしても、市民生活には少なからずの影響があり、中小・小規模事業所にも影響が発生してくると思いますので、今後の国の経済対策や消費税増税に関する対策を注視していきます。



外国人観光客の将来の動向について

平成27年度の外国人延べ宿泊者数を、観光庁が公表しました。全国で前年度比48.1%増の6,637万人、そのうち大阪は延べ934万人で客室稼働率でいえば、全国一の85%。

和歌山市でいいますと平成27年度の延べ宿泊者数は、104,913人で平成23年度の17倍にもなると示されています。本市は関西国際空港にも近く、大阪に宿泊出来なかった旅行者の受け皿になったとも考えられます。

市長は、今後の外国人宿泊者数の動向はどうなるとお考えですか。

市長

ビザの緩和や円安などにより、訪日外国人旅行者が急増しています。関西国際空港に近い本市の動向については、周遊性の高い個人旅行者やリピーターの志向が多様化し、地方に分散していくと考えられることから、宿泊者数は今後とも増加すると考えています。



まちづくりについて

中心市街地の活性化について伺います。

低成長、人口減の現在、空洞化した中心市街地に居住者を呼び戻すためには、何をすべきか？

仮に言うなら、環境の良い安い住宅を提供できれば良いという事になるでしょう。では今回の開発行為等に関する条例の改正で、中心市街地への居住者回帰が進むと言えるのでしょうか。そして、主要幹線道路沿線の区域の規制が当該住民の生活の利便性につながるのでしょうか。

市長

今回の開発条例の見直しは、市街地調整区域では、宅地の拡散を防止しつつ、駅や小学校等の周辺を生活拠点とし、将来に渡って快適に暮らせる地域づくりを目指しています。中心市街地では、民間活力を活かし、再開発事業や空き家の利用による居住スペースの確保、市民会館、図書館の再配置、和歌山城周辺整備など、魅力と利便性を高めることで居住を促進していきます。また、主要幹線道路沿道では、一部規制されますが今後は日常生活に必要な機能を地域の生活拠点に集約することで、住民の利便性が向上するものと考えています。

政治・行政 に関するご意見、ご感想を
お寄せください

お問い合わせ & インフォメーション

『浜田しんすけに教えてください。』

皆様が思っている政治に関するご意見や、日常生活の中で感じる、
行政サービスへの不満など、どんな小さなことでも結構です。



フェイスブックはじめました。

浜田しんすけホームページ

<http://hamadashinsuke.com>

※ホームページ内にブログも開設しました。



kaikaku1961@yahoo.co.jp

浜田真輔



上のQRコードを携帯
電話でバーコードス
キャンすればHPに即
アクセスできます

18歳選挙権成立

2015年6月に選挙権年齢を、20歳から18歳に引き下げる改正公職選挙法が
成立しました。

今年の夏の参院選から適用されます。

政治なんて興味がない。

誰がなっても一緒やし。と言わないで！

意外と身近な事が政治と繋がっています。

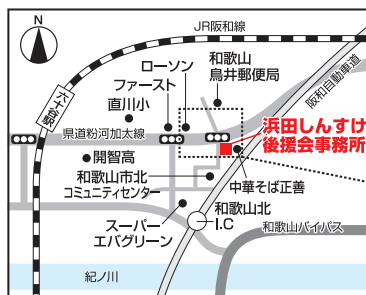
ちょっと首を突っ込んで見回してみる事で、自分達の
将来を考える良い機会になると思いますよ。



ぜひ投票に行きましょう。

浜田しんすけ 後援会事務所

直川の和歌山北コミュニケーションセンターから北へ、粉河加太線との
交差点東側に事務所がありますのでぜひお立ち寄りください。



〒640-8481 和歌山市直川 612-1 YKM ガーデン 1F (正善ラーメンさん並び西端)
TEL 073(461) 5002 FAX 073(461) 5007